

「多賀城碑の真偽論争と国宝指定」

- ◆多賀城碑は江戸時代初頃に土中から発見され、歌枕の壺碑として文人達の間で有名になり、徳川光圀の進言で覆屋が建てられたり、松尾芭蕉の「おくのほそ道」に記されたりしました。ところが明治に入ると、碑に対する真偽論争が起こり、偽作と信じられて来ました。
- ◆昭和44年に設置された多賀城跡調査研究所の発掘調査等により、偽作説にはさして根拠がないと考えられるようになり、平成9年の多賀城碑地下部分の発掘調査で、10世紀中頃以前の建立であることが証明されました。
- ◆これにより、多賀城碑は平成10年に国の重要文化財、今年8月には国宝(古文書)に指定されました。
- ◆今回、偽作説と発掘調査結果との関わりなどを通して、国宝指定までの経緯について詳しく紹介していただきます。

日時 令和6年12月22日(日) 15:00~16:30

会場 エル・パーク仙台 5階 セミナーホール 1

141ビル (仙台三越定禅寺通り館) 仙台市青葉区一番町4-11-1 022-268-8300)

演題 「多賀城碑の真偽論争と国宝指定」

講師: 白鳥 良一 氏 (元宮城県多賀城跡調査研究所 所長)

参加

募集定員: 60名

申込期限: 12月13日(金) ※定員になり次第締切

参加費: 500円(資料代) ※当会会員は無料

申込内容: 氏名・所在市町村名

(仙台市は区まで) ※当会会員は氏名のみ

申込・問合せ先

Mail: miyagi.kaidou@gmail.com

TEL: 080-3322-1966

その他

街道談義(忘年会) [17:00より開催]

(仙台駅前にて参加費5,300円)

☞事前申込必要



出典: 多賀城市ホームページ

【講師プロフィール】 白鳥 良一 (しらとり りょういち)

宮城教育大学卒。宮城県教育委員会に入庁し、仙台市教育局文化財課長、宮城県多賀城跡調査研究所長、宮城県教育庁文化財保護課長、東北歴史博物館副館長を歴任。その後、尚絅学院大学・東北生活文化大学講師、(公社)宮城県芸術協会事務局長を経て、現在みやぎ街道交流会会長ほか。

専門: 東北古代史の考古学的研究。縄文土器、土師器・須恵器の研究

みやぎ街道交流会

〒980-0802 仙台市青葉区二日町13-17 TEL080-3322-1966 FAX 022-262-0379

Email miyagi.kaidou@gmail.com

HP [みやぎ街道交流会]で検索